

## 街づくりは街歩きマイスターの育成から！！

### 船橋市における街案内ボランティア組織および人材育成事業

取材日：平成23年（2011年）2月6日（日）

#### 【活動目的】

ふなばし街歩きネットワークは、「掘り起こし散歩・味わい街歩き」、「街歩きから街おこしへ」、「みんなで街案内人になろう」の3つのコンセプトに基づき、諸活動を行っている。街おこしに向けて、①多彩・多様な街歩きを、地域の関連団体と提携して実施し、②街歩きで発見した地域の魅力や資源を、「街おこし」につなげ、③船橋市街案内ボランティア組織および人材の育成をめざしている。

船橋市観光協会の中には3つの委員会（組織・広報・事業）が設置されているが、この「ふなばし街歩きネットワーク」団体は「街歩き観光事業の開発・発展」を目的に、事業委員会の中に平成21年10月に独立した団体として創られたものである。

#### 【活動状況】

団体はこれまで街歩きとして、昨年は「2月・本町/湊町めぐり」「5月宮本めぐり」「11月・海神めぐり」を実施するとともに、8月には街歩き参加者の懇談会も行い100名以上の参加者を数えている。また、観光コース開発活動として「海老川遊船」「三番瀬渡し舟」「元南極観測船しらせ」などを体験学習し、魅力的な体験型都市ツアー開発の展望を得ている。

#### 【支援金事業の内容】（支援対象経費総額 406,876 円 支援金確定額 203,438 円 支援率 50%）

今回の支援金事業は、船橋市における街案内ボランティア組織および人材育成事業である。市民はもとより、船橋市を訪れる国内外の方々に対し、正確で良質な都市観光情報・地域情報を提供し、街歩き会や観光案内活動を行いながら、案内対象者と地元生産者・販売者との交流を強化して地元製品の利活用促進を図る「街歩きボランティア（ふるさと案内マイスター）」の組織と人材の育成を行うものである。22年度はそのための準備として、ボランティア育成のためのプログラム策定、研修テキストとツールの作成を行うとともに、案内先（街歩き、観光コース）の整備と新規開発に力を入れている。

このための事業費として、講師・社寺への報償費、研修冊子や資料の印刷・製本費、研修用携帯ビデオ製作費その他、新観光コースの整備開発費などで合計800,000円を予定しており、これに対する本市からの支援率は50%となっている。

#### 【活動の現場から】

2月6日（日）、22年度の有終を飾る「鎌倉時代の歴史・文化と地元商店街を訪ねて」をテーマにした街歩きに参加した。コースはJR下総中山駅から商店街を散策し、法華経寺周辺をめぐるものである。

法華経寺は鎌倉時代の日蓮上人にゆかりのある寺であるが、平成の大改修の行われた祖師堂内部の説明（法華経寺の歴史と街おこし）と講話を田中見定上人に、黒門、赤門、法華経寺境内、商店街や周辺は「市川案内人の会」のボランティアの方に案内していただいた。



街歩きに参加

2月10日に大荒行の成満会を迎える修行僧達の読経の声が聞こえてくる境内で、約30名の参加者は熱心にメモをとりながら説明に聴き入っていました。普段は入れない祖師堂の中の様子や、上人からの貴重な講話、故事来歴から文化、芸術等を詳しく勉強されている案内人の説明を聴く機会が得られ、2月の寒さも忘れるほど貴重な勉強を体験できました。



本院貴賓室にて田中上人より  
「中山街おこし」の経験談を拝聴

### 【事業に期待される効果】

街案内ボランティアが行う良質な地域情報を提供する街歩き会や街案内活動によって、案内を受けた市民の中に本市の歴史・文化・産業・自然・環境など各分野の魅力を新発見・再開発する体験が積み重ねられることになり、市民が「郷土認識と協働意識を高める効果」が期待されている。

歴史はもちろんのこと、地域の文化、自然、産業をしっかりと見つけ、その中から「お宝」を発見し、市民だけでなく多くの来訪者を引きよせる魅力ある体験型都市観光事業の実現を期待できるとともに、ふなばし市民大学卒業者を含み中高年者の地域での活動を支える「受け皿活動」としても重要な役割を担っていくものと期待されている。

### 【取材を終えて】

市民、行政、商工農漁業関係者すべてにとって、観光事業の活発化に期待するところは益々高くなっています。その中であって、「ふなばし街歩きネットワーク」はまずは市民が街を知る・街を知るために街を歩く・街を肌で感じたもの同士が手をつなぐことから始めようとしていることに深い感動と共感を覚えた。体験型街歩き型都市ツアーには、①優秀な案内ボランティアがいること、②素晴らしいコースがあること、③そのコースの中にあるメニューが優れていることの三つが揃うことが必要であると強調されていたのが大変印象に残っている。23年度から始まる「ふるさと案内マイスター」の組織と人材の育成を行う準備は着々と進んでいったが、研修のための会場探しとカリキュラム作り、講師発掘には相当の労力を要したとのことでした。

めざす目標は高く、短期間で到達することは困難が伴うでしょうが、継続的な地道な活動が他市に真似のできない「観光都市船橋市」を将来に向けて作り上げていくのではないかと感じました。他の市民団体とも提携しながら、これからの市民活動の見本となる活躍を期待しています。

関わり先（連絡担当者船橋市観光協会）  
ふなばし街歩きネットワーク  
事務局長 人見 邦良  
Tel：047-422-0596